

2019年9月13日

あやべ市民新聞(3面)に掲載されました

企業との連携の可能性探る 府社協がボランティア会議 府内各地から18人来綾

市内に立地する企業の社会貢献活動(CSR)担当者 را 招き、府内各地にあるボランティアセンター(VC)と企業との連携の可能性について探る府内初の意見交流会が11日、西町1丁目のI・Tビルで府内各地から18人が来綾して開かれた。

「ボランティアの入り口デザインプロジェクト会議(府社会福祉協議会主催)」として開かれたもので、同プロジェクトには高齢化や固定化、後継者不足といった悩みを抱えるボランティア活動に携わる各市町の社協関係者が参加。ボランティア活動未経験の人に参加を促すための仕掛けづくりを考えている。

この日は、これまで余り接点のなかったCSR担当者とVC担当者が意見交換するため



二つのグループに分かれ意見交換する参加者ら
(西町1丁目で)

に企画。企業側からは住友理工の伊藤かおりさんと日東精工の荒賀誠さんがそれぞれの会社のCSR活動について発表したあと、参加者が二つのグループに分かれて話し合った。

VC担当者からは「社協に期待することは」や「CSR活動の内容はどうやって決めているのか」「従業員への周知方法は」とい

った質問が出たほか、CSR担当者からは「地域にある企業同士が連携するためのサポートや仕組みづくりがあれば」といった要望もあった。【四方憲生】